

2023年10月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ナ カ
代 表 者 取 締 役 社 長 CEO 湖 中 謙 介
(コード番号：7494 東証プライム)
問 合 せ 先 専 務 執 行 役 員 CFO 奥 村 真
(TEL 045-825-7700)
<https://www.konaka.co.jp>

**連結子会社の固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上
並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドが、本日「固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社 2023 年 9 月期連結業績予想に影響はありません。

記

(添付)

別添「固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」

以 上



2023年10月13日

各位

会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド
代表者 代表取締役社長 米田 幸正
(コード番号 7829:東証グロース)
問合せ先 管理統括本部長 杵本 直司
(電話 03 - 6400 - 5524)

固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社所有の固定資産の譲渡を決議いたしました。これに伴い、2024年2月期第4四半期における特別利益の発生見込みや直近の業績動向を踏まえて、2024年2月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上

当社は、2024年2月期第4四半期において固定資産の譲渡に伴う売却益を特別利益として計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(1) 譲渡の理由

経営資源の有効活用のため、当社所有の固定資産を譲渡するものであります。

(2) 譲渡資産の内容

| | |
|-------|---------------------------|
| 所在地 | 静岡市清水区長崎南町 |
| 資産の概要 | 土地(宅地)、建物(鉄骨造合金メッキ鋼板葺3階建) |
| 譲渡価額 | (譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます) |
| 帳簿価額 | (譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます) |
| 譲渡益 | 391百万円 |
| 決済方法 | 銀行振込 |

(3) 相手先の概要

譲渡先は、国内法人であります。譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。その他、当社と譲渡先の間には資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

(4) 譲渡日程

| | |
|------------|-------------|
| 取締役会決議日 | 2023年10月13日 |
| 契約締結日 | 2023年10月13日 |
| 物件引渡期日(予定) | 2024年2月29日 |

(5) 今後の見通し

2024年2月期第4四半期に固定資産売却益391百万円を特別利益として計上する見込みです。

(6) その他会社情報を適切に理解・判断するために必要な事象

開示すべき事象が発生した場合には速やかに開示いたします。

2. 2024年2月期通期連結業績予想の修正

(2024年2月期通期連結業績予想の修正 2023年3月1日～2024年2月29日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) (2024年2月期通期予想) | 26,872 | 558 | 490 | 283 | 4.31 |
| 今回修正予想 (B) (2024年2月期通期予想) | 26,119 | 430 | 241 | 326 | 4.95 |
| 増減額 (B - A) | △753 | △128 | △249 | 43 | 0.64 |
| 増減率 (%) | △2.8 | △22.9 | △50.8 | 15.2 | 14.8 |
| (ご参考)前期通期実績 (2023年2月期通期実績) | 25,241 | △1,717 | △1,548 | △1,996 | △30.31 |

(修正の理由)

2023年9月26日付「2024年2月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」、2023年10月13日付「2024年2月期第2四半期決算短信」にて公表の通り、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、現在、当社グループの全方位的な構造改革（リボーン計画）を推進しておりますところ、今夏の記録的な猛暑の影響や、複数回に渡る台風の直撃などの天候不順等により一部店舗の営業に制限がかかり売上高に影響がありましたことや、郊外ロードサイド店舗中心にお客様のご来店客数がコロナウイルス感染症前の状況まで戻らなかったことなどにより、売上高の回復とはなりません。一方、売上原価の低減による粗利益の改善、販売費及び一般管理費節減の努力を継続したことにより、当第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画値から△581百万円と一定の成果を得ましたが、売上高の未達を補うまでには至りませんでした。第1四半期実施のA種種類株式発行に伴う株式交付費を営業外費用に計上したほか、第2四半期に固定資産の減損損失231百万円を特別損失に計上いたしました。

これに加えて、通期連結業績予想においては、2023年10月13日付契約締結の固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益391百万円を特別利益へ反映いたしました。

これらの結果、各段階利益に大きく影響する結果となり、前回発表時の業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期連結業績予想については、当社事業の売上高において大きな割合を占める第3四半期及び第4四半期を控え、順調に回復し今下期も期待されるインバウンド需要の回帰が見込まれることや、前年には実行していない季節対応型商品企画、及び戦略的ブランドパートナー企業との協業により開発した商品の展開と具体的販売施策を鋭意推進する予定です。

今後業績の推移に応じてさらなる修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表することといたします。

以 上